

平成 27 年度入試【編入学一般入試】問題

小論文

(総合理工学部 建築・生産設計工学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 4 ページ、解答用紙 2 枚（下書き用紙も 2 枚）である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙は下書き用紙も含めてすべて提出すること。
- 5 問題紙は持ち帰ること。

問題1. 下記の図は日本の電源構成の推移です。この図から導きだせる話題について、600字以内で示して下さい。

次のページの主な出来事を参考にし、話題の一助に使って下さい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

図 1.1 日本の電源構成（発電量）の推移（[EDMC]「電気事業便覧」などのデータより ISEP 作成）

問題1. 続き

主な出来事

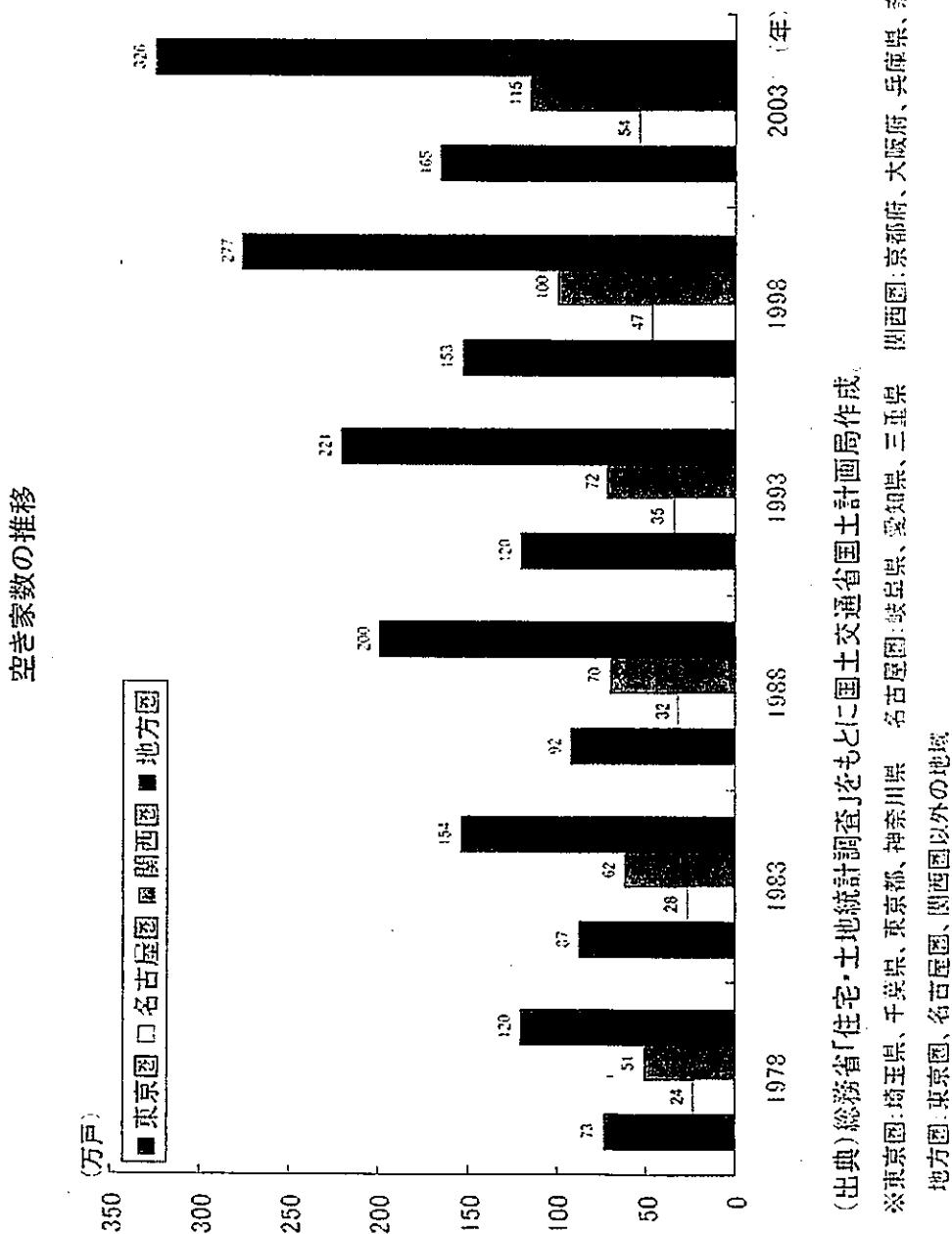
- 1990 不動産融資の総量規制
- 1991 バブル景気崩壊、湾岸戦争、ソ連崩壊
- 1992 アフガニスタン内戦、「就職氷河期」始まる
- 1993 55年体制崩壊（自由民主党が下野）、EU発足、メキシコ通貨危機
- 1994 第一次チェチェン紛争
- 1995 阪神淡路大震災、高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏洩事故
- 1997 消費税率3%から5%へ引き上げ、アジア通貨危機、拓殖銀行破綻、山一証券廃業、京都議定書
- 1998 日本長期信用銀行、日本債券信用銀行が一時国有化
- 1999 東海村JCO臨界事故、日本銀行ゼロ金利政策実施
- 2001 米同時多発テロ
- 2003 イラク戦争
- 2008 米証券大手リーマン・ブラザーズ経営破綻
- 2009 日経平均がバブル後最安値更新、民主党政権誕生
- 2010 日本航空破綻
- 2011 東日本大震災
- 2012 自由民主党政権復帰

問題2. 下図及び次ページの図は、都市部及び地方における空き家数の推移を示すグラフです。

この図の傾向より、今後の日本における地域と住まいのあり方について、どうあるべきと考えるか、下記のキーワードを2語以上用いて論じてください。

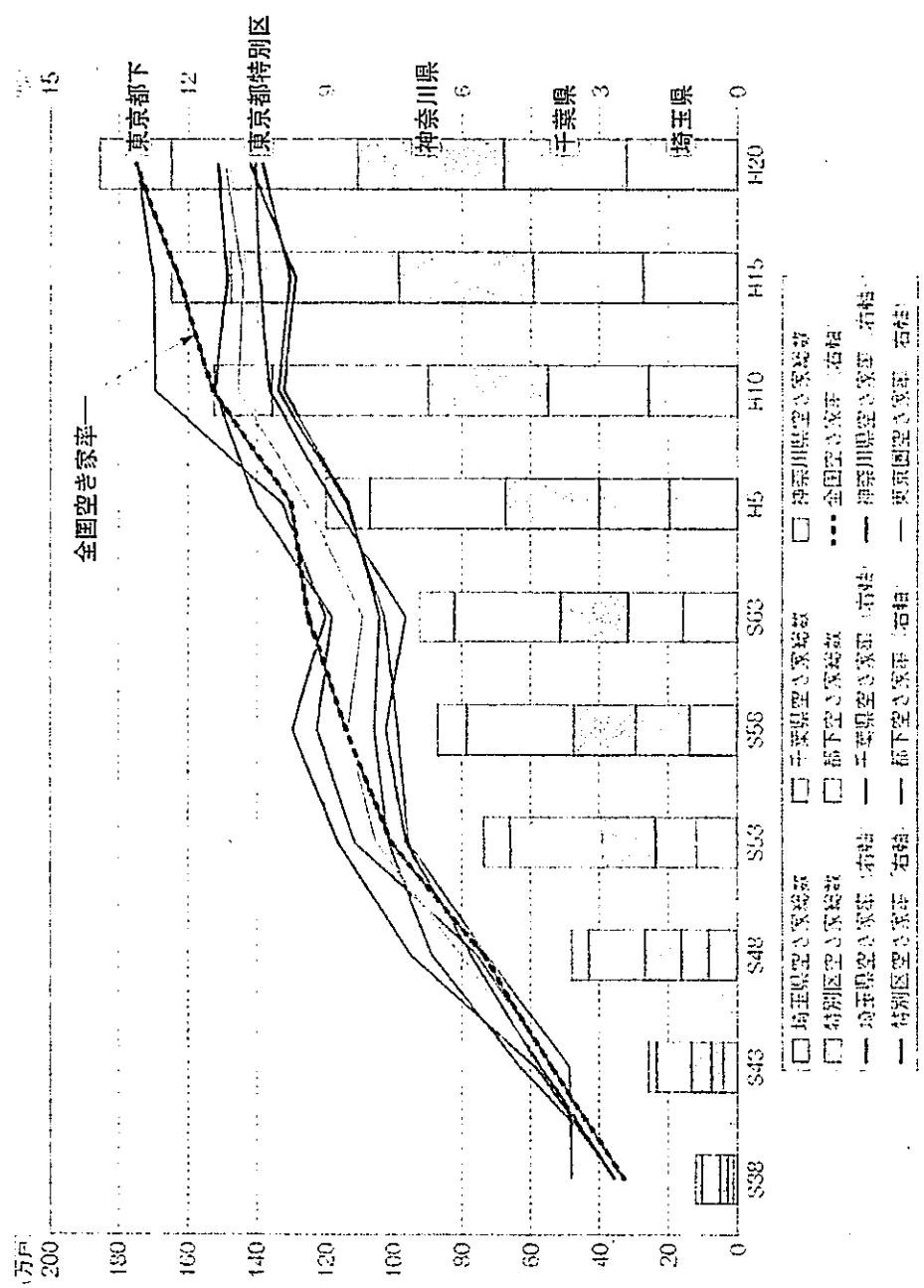
(600字以内)

キーワード： 少子高齢化、老朽化、治安の悪化、U I Jターン、中心市街地の活性化
地域コミュニティ、歴史的な建築物



問題2. 続き

東京圏の地域別空き家数と空き家率の推移



(出典) 総務省「住宅・土地統計調査」をもとに国土交通省国土計画局作成。